

2019 年 10 月 2 日

報道関係各位

三菱地所株式会社
三菱地所レジデンス株式会社
三菱地所ホーム株式会社
株式会社三菱地所設計

2019 年度グッドデザイン賞 三菱地所グループ全体で 8 件受賞



- ・「ザ・パークハウス 五番町」(三菱地所レジデンス)
- ・「KOJIMACHI TERRACE」(三菱地所ホーム)
- ・「ヒューリックスクエア東京」(三菱地所設計) など

～三菱地所グループ 17 年連続の受賞～

三菱地所グループの三菱地所レジデンス株式会社、三菱地所ホーム株式会社、株式会社三菱地所設計は、2019 年度グッドデザイン賞において、分譲マンション「ザ・パークハウス 五番町」、「KOJIMACHI TERRACE」「ヒューリックスクエア東京」など、合計 8 件を受賞しました。

<2019 年度グッドデザイン賞 受賞プロジェクト一覧 (全 8 件) >

【分譲マンション「ザ・パークハウス 五番町」】

【分譲マンション「ザ・パークハウス 桜坂サンリヤン」】

【分譲マンション「ザ・パークハウス あざみ野一丁目」】

【シェアオフィス「Under construction (Un.C./アंक)」】

【分譲マンション「幕張ベイパーク クロスタワー&レジデンス」】※共同事業

【連続両面大開口と国産 100%CLT スラブによる深い軒下空間を有する千里・新宿モデルハウス】

【店舗・事務所ビル「KOJIMACHI TERRACE」】

【商業施設・ホテル「ヒューリックスクエア東京」】



ザ・パークハウス あざみ野一丁目

グッドデザイン賞は、三菱地所グループとして、1998 年度に「クイーンズスクエア横浜」で初めて受賞。2003 年度からは 17 年連続の受賞となります。三菱地所グループは、今後も「人を、想う力。街を、想う力。」というブランドスローガンのもと、まちづくりを通じて社会に貢献していきます。

■受賞プロジェクトの紹介

<住宅事業グループ ～17年連続受賞～>

1. ザ・パークハウス 五番町（三菱地所レジデンス）

番町エリアにありながら、JR「市ヶ谷」駅から徒歩2分の高利便性を有する集合住宅。計画エリアは都心駅前の狭小道路が連なり、商業・業務ビルが建ち並ぶ。良好な住環境形成のためにさまざまな課題を抱えたこの都心・駅前建築密集地に、都市の“余白”を生み出し“奥行き”のある邸宅を創ることで、居住者の「都心住まいの付加価値」と五番町の「沿道環境の付加価値」向上を目指した。

（評価コメント）

狭小道路に雑然とビルが立ち並ぶ駅周辺の街区に対して「余白」という価値を提示している点がまず共感できる。集合住宅とは単に住まい方の問題ではなく、公共空間を都市の中にどのように作るかという試みであり、時に質の高い「余白」の連なりこそが環境の言語をつくっていく場合がある。また地域の歴史的な文脈をストレートに用いるのではなく暗喩的に空間言語として用いた点、「余白」に対して端正な立面・軒天のデザインとしてまとめている点もプロジェクトを成功に導いており、確かな美学に基づいた全体的調和がある。



●「ザ・パークハウス 五番町」概要

所在地：東京都千代田区五番町4番6号

構造・規模：鉄筋コンクリート造 地上13階建

住戸面積：63.85㎡～104.90㎡

総戸数：31戸

事業主：三菱地所レジデンス株式会社

設計監理：株式会社三菱地所設計

施工：東亜建設工業株式会社

管理会社：三菱地所コミュニティ株式会社

竣工：2018年6月

2. ザ・パークハウス 桜坂サンリヤン

土砂災害特別警戒区域レッドゾーンに該当していた斜面計画地において、自然災害から周辺エリアを守る役割と、自然本来の保全を両立した大規模集合住宅。福岡県との協議にて建物基礎部分で造成法面を支える手法が初めて認められたことにより、自然本来の高低差や生態系に寄り添う立体回遊空間を舞台とした「森と共生するライフスタイル」を実現。

(評価コメント)

土砂災害危険地域に指定される自然斜面地に、ここに喰い込むように集合住宅のボリュームを建てることで、基礎躯体が崩落を保護する役割をなすことで地域の安全性を高めることに寄与している。一般に忌諱されがちな集合住宅の巨大さを積極的な価値へと転換した点には大きな価値がある。しかし何より、斜面地形に喰い込むことで、各階が本物の自然に接続し、内外をまたいだワイルドでストロークの長いシークエンスが展開しているのは、これはなかなか得難い生活経験であり、高く評価したい。大変楽しい生活が想像でき、戸建では得られない価値が生み出されている。



●「ザ・パークハウス桜坂サンリヤン」概要

所在地：福岡県福岡市中央区桜坂三丁目 288 番 1

構造・規模：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）23 階建 ※建築基準法上は地上 18 階地下 5 階建

住戸面積：62.55 m²～138.80 m²

総戸数：322 戸

事業主：三菱地所レジデンス株式会社、
西日本鉄道株式会社

施工：三井住友建設株式会社

管理会社：三菱地所コミュニティ株式会社

竣工：2018 年 8 月

3. ザ・パークハウス あざみ野一丁目

本計画は街路樹数や公園数が多く、暮らしと自然が共存した心地良い環境が広がる横浜市青葉区あざみ野エリアの第一種低層住居専用地域に計画された低層集合住宅。豊かな自然環境と、長きに渡り洗練され続けてきた街並みとの調和を大切にしながら、都心の集合住宅には無い、まるで「別荘地のような優雅で落ち着いた暮らし」を提案した。

(評価コメント)

L 型の住棟から切り離され、緑の通路の先におかれた、戸建てのようなスケールのエントランス棟は、街との良好な連続性をつくる上で極めて重要な役割を果たしている。また、駐車場への動線も、外構デザインと連携したゲートが二か所設けられ、日常動線でありながら、見過ごされがちなこうした動線を丁寧にデザインすることは、評価に値する。このような点を含めて、駐車場をとったあとの決して大きいとは言えない空地に、建築と連携した外構計画が巧みに計画されており、内部空間や日常動線を豊かにしている。



●「ザ・パークハウス あざみ野一丁目」概要

所在地：神奈川県横浜市青葉区あざみ野一丁目 23 番 1

構造・規模：鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造・4階建(建築基準法上は地上3階地下1階建)

住戸面積：76.35㎡～101.68㎡

総戸数：111戸

事業主：三菱地所レジデンス株式会社、

施工：株式会社フジタ横浜支店

管理会社：三菱地所コミュニティ株式会社

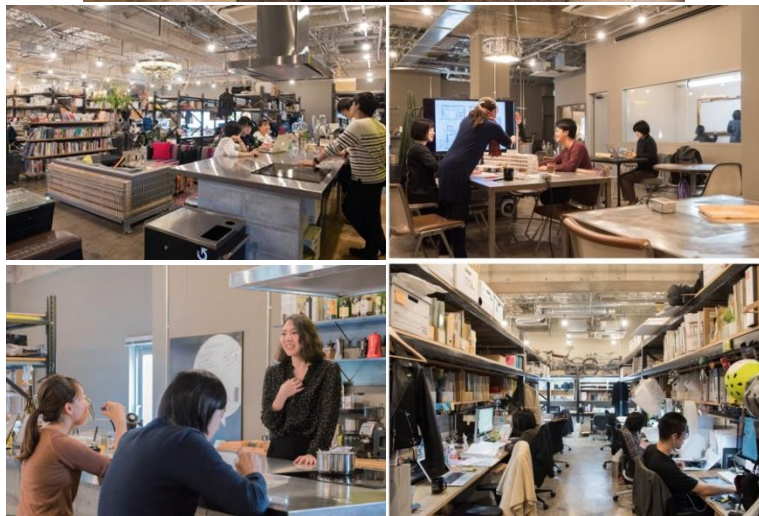
竣工：2018年12月

4. シェアオフィス 「Under construction (Un.C./アंक)」

働き方が多様化する中で、従来の執務空間と異なる「公園のようなシェアオフィス」をつくった。ワンルームにキッチンやラウンジ、執務空間を混在させ、働き方のモードに合った居場所の選択を可能に。また、プレイスマネージャーを配置し入居者の交流を活性化。これらの空間・運営的仕掛けにより新たなクリエイティブが生まれる環境となっている。

(評価コメント)

倉庫やショールームとして使われていたビルをリノベーションしたプロジェクトの旗艦フロアとしてのシェアオフィス。圧倒的な天井高を生かした迫力ある空間を、仕切りのない一つの空間に多様な居場所、メリハリを生み出している。そして産業廃棄物を再利用するプロジェクト「THROWBACK」のプロダクトがそこかしこに散りばめられていることが、この空間全体のユニークさやメッセージをさらに際立たせ、創造性を刺激する場となっている。



● 「Under construction (Un.C./アंक)」 概要

所在地：東京都中央区日本橋馬喰町 2-7-15 ザ・パークレックス日本橋馬喰町 7 階

用途：事務所

フロア面積：445.09 m²

構造・規模：鉄筋コンクリート造・地上 7 階地下 1 階

所在階：7 階

運営会社：株式会社オープン・エー

利用開始日：2016 年 12 月 6 日

席数：42 席

5. 幕張ベイパーク クロスタワー&レジデンス（三井不動産レジデンシャル、野村不動産、三菱地所レジデンス、伊藤忠都市開発、東方地所、富士見地所、袖ヶ浦興業）

本計画は、幕張新都心若葉住宅地区において開発中の総開発面積約17万㎡、事業期間10年超、約1万人が暮らす首都圏最大級の街づくりプロジェクト「幕張ベイパーク」の第一期開発街区である。本物件は第一号物件として本計画の全体コンセプトである「ミクストユースの街づくり」のモデルケースとなるべく、多世代交流、多様な働き方を実現するテナントの誘致、住民主体のエリアマネジメント組織の設立とその拠点の開設を行い、街に必要な機能を持たせると共に、建築デザインによってそれらの機能を最大限に活かすことが新しく生まれた街での持続可能なコミュニティ形成の起点となると考えた。計画段階から計6回にわたり地域住民、有識者を交えたディスカッションを実施し、街の未来像・街に必要な機能などに関して議論を重ねたほか、入居前コミュニティ活動の基盤づくりの一環として後発開発街区の敷地内にカフェ、ブルワリー、スタジオで構成される暫定利用施設を設置。同施設や公園を拠点に住民主導のイベントを実施した。

（評価コメント）

大規模な集合住宅を、育児施設、学童施設、コワーキングスペースなどとともに計画することで、街の生活機能を担う開発になっている。事前に地域住民との意見交換をするなどのプロセスがその有効性を担保するものとしていると思われる。また、集合住宅の共用空間やそのほかの施設を接地階に集め、建物内部での活動を外部に表出されるようなデザインも街に表情を与えることに貢献している。住空間が住むだけの施設として孤立しないこのような計画は高く評価されるべきものといえる。



●「幕張ベイパーク クロスタワー&レジデンス」概要

所在地：千葉県千葉市美浜区若葉3丁目1番地18,19

構造・規模：鉄筋コンクリート造・地上37階建

住戸面積：59.77㎡～107.59㎡

総戸数：497戸

事業主：三井不動産レジデンシャル株式会社、野村不動産株式会社、三菱地所レジデンス株式会社、伊藤忠都市開発株式会社、東方地所株式会社、株式会社富士見地所、袖ヶ浦興業株式会社

施工：株式会社熊谷組

管理会社：三井不動産レジデンシャルサービス株式会社

竣工：2018年12月

6. 連続両面大開口と国産 100%CLT スラブによる深い軒下空間を有する千里・新宿モデルハウス

(三菱地所ホーム)

「ハイプロテクトウォール構法」と、「3D TIMBER FRAME」によって可能となった大空間と 8m の連続両面大開口に加え、CLT※を床版に使用することで 2 方向はね出しによる伸びやかな軒下空間を生み出した。大きな軒下空間は、夏は直射日光を避け、日照時間の短い冬には柔らかな光を室内の奥まで長く届かせる。水平方向に伸びる CLT スラブとフラットな底で構成されるダブルラインをシンプルなキューブ型と組み合わせ、『水平・垂直・平行』のラインを基調とした。整然として連続性のある造形美は、CLT 活用のデザイン確立により、CLT の普及と国産材の利用を広げていく。

※CLT…Cross Laminated Timber の略。1995 年頃からオーストリアを中心として発展してきた新しい 構造材で、板の層を各層で互いに直交するように積層接着した大判パネルのこと。

(評価コメント)

このような大きな軒下空間は CLT に向いているのかもしれない。大きな半屋外空間を構造体を跳ね出すことによってつくる場合、一般的にヒートブリッジが問題となるが、厚板の CLT であれば懸念は少ない。大手ハウスメーカーが国産材 CLT に取り組むことは、供給体制を充実させていく上で有意義なことである。それだけにとどまらず、CLT ならではの魅力的な空間、大きな中間領域というこれまでになかった質の空間を提示したことも、評価したい。



▲千里ホームギャラリー



▲新宿ホームギャラリー

●「千里ホームギャラリー」概要

所在地：大阪府吹田市千里万博公園 1-7

構造・規模：ツーバイ NEXT 構法※・地上 2 階建

延床面積：259.88 m²

竣工：2018 年 11 月

●「新宿ホームギャラリー」概要

所在地：東京都新宿区百人町 2-2-32

構造・規模：ツーバイ NEXT 構法※・地上 2 階建

延床面積：223.69 m²

竣工：2019 年 4 月

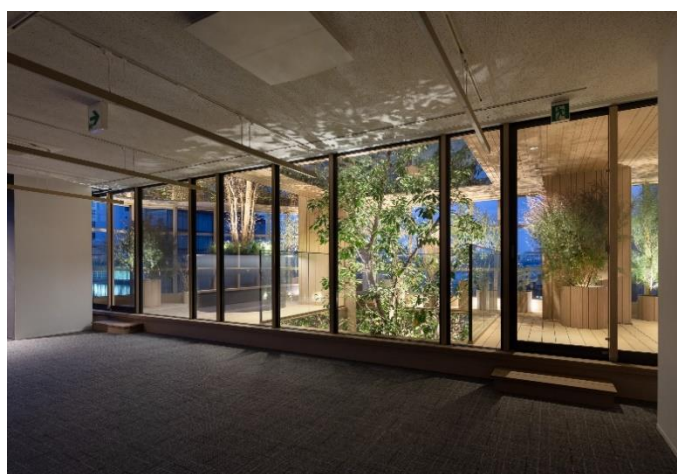
※ツーバイ NEXT 構法…優れた性能をもつ木造 2×4 工法を耐震性、耐久性、省エネ性に加え、空間創造の自由度まで、三菱地所ホームの独自技術で進化させたオリジナル構法

7. KOJIMACHI TERRACE（三菱地所ホーム）

東京・麹町に建設された、地下1階、地上11階のオフィスビル。通常のオフィスビルは気密性が高く、空調設備によって完全制御されているため、室内から天気の変化や季節の移ろい、そして街の気配などは感じ取りにくい。そこで、外の空気や気配を建物内に積極的に取り込むことで、外部との繋がりが感じられるオフィスにしたいと考えた。

（評価コメント）

オフィスビルの新たなデザイン提案が明確になされている。外気の取り込みを重視した設計やその結果としての多様な空間の創出。そして特徴的なファサード表現は、これまでの機能体かつフォーマルな印象をつくろうとするオフィスビルデザインの一般的なアプローチとは異なり、伝統や環境への意志を形にあらわす努力が感じられ、新たな潮流につながるように思える。これから周辺の建築環境にも良い影響を与える予感も感じられた。



● 「KOJIMACHI TERRACE」 概要

所在地：東京都千代田区麹町三丁目1番地

構造・規模：鉄筋コンクリート造 地上11階、地下1階

敷地面積：281.19 m²

建築面積：229.84 m²

延床面積：2,374.84 m²

事業主：株式会社横浜駅前ビルディング

建築デザイン：有限会社 nendo×株式会社 IKAWAYA 建築設計

設計：三菱地所ホーム株式会社

施工：三菱地所ホーム株式会社

竣工：2018年9月

8. ヒューリックスクエア東京（三菱地所設計）

事業主所有の2棟の既存建物を一体開発し、ホテル・商業の複合施設を整備、フラッグシップとなる施設の実現と数寄屋橋の新たなランドマークとなることを目指した。丸の内・銀座・日比谷とそれぞれ異なる界限の結節点にある数寄屋橋の魅力を生かし、周囲のまちとのつながりや賑わい創出のため、床面積を最大にし、高密度化、敷地全長につらなるテラス・ロビー・レストランからはまちが一望できるほか、ホテルロビーは都市のパブリックスペースとしても機能するよう、テラスを配し緑を設けるなどした。

（評価コメント）

地価の高い立地に立つ商業用不動産において、建築デザインとしての差別化やそれを経済価値の最大化にも転嫁させていく戦略の実現は決して簡単ではない。本作品では、与件と場所のコンテキストを正確に把握した上で、巧みな戦略とアイデアの統合が実現されていることが評価された。ややもすると商業的な雑多さに飲み込まれかねないロケーションにおいて、建築の表情やボリュームの操作が適切な品格をたたえつつ、物件価値も同時にデザインされている。



●「ヒューリックスクエア東京」概要

所在地：東京都千代田区有楽町 2-2-3

構造・規模：鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地上13階地下2階塔屋2階

敷地面積：1,530.73 m²

建築面積：1,418.10 m²

延床面積：15,782.56 m²

事業主：ヒューリック株式会社

設計：株式会社三菱地所設計

施工：大成建設株式会社

竣工：2018年10月

<参考>

●三菱地所グループ グッドデザイン賞受賞実績

1998 年度	「クイーンズスクエア横浜」
2000 年度	「丸の内仲通り」
2001 年度	「国立室戸少年自然の家海望台」
2003 年度	「丸の内ビルディング」
2004 年度	「M.M.TOWERS」「日本テレビタワー」「品川セントラルガーデン」
2005 年度	「ザ・フィネスト上野毛パークハウス」「洗足池スタイルハウス」「フォレスト南平台」 「ザ・ハウス南麻布」
2006 年度	「井の頭公園パークハウス吉祥寺南町」「追手門学院大学守衛所」 「明治安田生命ビル街区再開発」
2007 年度	「セントラルガーデン・レジデンス」「ザ・ステージオ（共同事業）」 「読売北海道ビル」「オンワード仙台支店」「国際文化会館」「横浜ベイクォーター」「新丸ビル」
2008 年度	「M.M.TOWERS FORESIS」「CAPITAL MARK TOWER（共同事業）」 「成蹊大学情報図書館」
2009 年度	「本郷パークハウス ザ・プレミアフォート」「The Kitahama」
2010 年度	「パークハウス フォレストリエ」「パークハウス 木々 津田沼前原」 「パークハウス瀬田一丁目」「スタイルハウス目黒緑が丘」 「ミッドオアシスタワーズ」「パークハビオ駒沢大学」「soleco（ソレッコ）」
2011 年度	「パークハウス吉祥寺 OIKOS」「パークハウス江ノ島」「豊洲フロント」「大鉄工業本社ビル」 「成蹊学園キャンパス」
2012 年度	「ザ・パークハウス 茅ヶ崎東海岸南」「ザ・パークハウス 六番町」 「5つのアイズ」「スマイラボ」「八事山興正寺 境内整備計画Ⅰ」
2013 年度	「ザ・パークハウス 池田山」「東洋文庫」「熊谷商工信用組合本店」
2014 年度	「丸の内仲通り」「MARK IS みなとみらい」「『はらくつつい東北』シリーズ」 「ザ・パークハウス 代官山レジデンス」「ザ・パークハウス 渋谷美竹」 「ザ・パークハウス 戸塚」「ドレッセ世田谷桜レジデンス（共同事業）」 「スーパータックフィット MNT（共同事業）」 「全館空調エアロテックのダクトレイアウトシステム」、「制震賃貸住宅エムアセット」
2015 年度	「ザ・パークハウス グラン 千鳥ヶ淵」ベスト 100 受賞 「マンションのランニングコストの見える化『マンション家計簿』」ベスト 100 受賞（グッドデザイン・未来づくりデザイン賞受賞） 「築古ビルのバリューアップ転貸事業『Re ビル』」ベスト 100 受賞 「ザ・パークハウス グラン 三番町」「ザ・パークハウス 上鷺宮」 「ザ・パークハウス 追浜」「SKYZ TOWER&GARDEN（共同事業）」 「パークハビオ赤坂タワー」「西新宿 CLASS in the forest」「プレーン・ルームズ」 「そなえるカルタ」「BIO NET INITIATIVE」「脇浜寮」
2016 年度	「ザ・パークハウス 晴海タワーズ」「賃貸物件の無人内覧サービス」 「遊休資産となった社宅再生転貸事業」「新築分譲マンションのための研究開発手法」 「渋谷董友ビル」「本社ビル+企業ミュージアム『安川電機みらい館』」 「『オーダーグラン』駒沢ステージ2 ホームギャラリー」
2017 年度	「ザ・パークハウス グラン 南青山」「ザ・パークハウス 市谷甲良町」 「ザ・パークハウス 東陽町レジデンス」「プレイスヴィラ喜多見」 「BAYZ TOWER&GARDEN」「集合住宅向け PC 工法のシリーズ化」 「空気の価値化『新マンションエアロテック』」「住まいの中に、木の小部屋『箱の間』」 「大手町フィナンシャルシティ グランキューブ」「星のや東京」

- 2018 年度 「ザ・パークハウス 西新宿タワー60」「蘆花公園 ザ・レジデンス」
「ザ・パークハウス 中之島タワー」「ザ・パークハウス 新宿御苑」
『そなえるドリル』ドナタデモプロジェクト」
『各住戸玄関前宅配ボックス』を利用した集合住宅における新しい宅配システム」
「グリーン付家具『ボタニカルファニチャー』」「ONE ORDER 浜田山ホームギャラリー」
「木造住宅最高レベルの高遮音床」「旧名古屋銀行本店ビル(THE CONDER HOUSE)」
「グランモール公園再整備」「横浜ゴム株式会社 研究開発センター第二ビル」
「X-PRESS 有楽町」
- 2019 年度 「ザ・パークハウス 五番町」「ザ・パークハウス 桜坂サンリヤン」
「ザ・パークハウス あざみ野一丁目」
「Under construction (Un.C./アंक)」
「幕張ベイパーク クロスタワー&レジデンス」
「連続両面大開口と国産 100%CLT スラブによる深い軒下空間を有する千里・新宿モデルハウス」
「KOJIMACHI TERRACE」
「ヒューリックスクエア東京」

以 上

＜本件に関するお問い合わせ先＞
三菱地所株式会社 広報部 TEL : 03-3287-5200